

J Aバンク長崎における地域密着型金融の取組状況（平成 26 年度）

J Aバンク長崎（長崎県下 J Aと農林中央金庫長崎支店）では、農業と地域社会に貢献するため、平成 25～27 年度 J Aバンク長崎中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

平成 26 年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

1 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

J Aバンク長崎は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取り組みを行っています。

(1) 農業融資商品の適切な提供・開発

J Aバンク長崎は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

平成 27 年 3 月末時点の J Aバンク長崎の農業関係資金残高^(注1)は 20,943 百万円、日本政策金融公庫等の受託貸付金^(注2)残高は 2,455 百万円を取り扱っています。

(注1) 農業関係資金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関する事業に必要な資金等が該当します。

(注2) J Aバンク長崎が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。

【営農類型別農業資金残高】（単位：百万円）

営農類型	平成 27 年 3 月末現在
農業	20,280
穀作	455
野菜・園芸	2,007
果樹・樹園農業	782
工芸作物	308
養豚・肉牛・酪農	3,985
養鶏・鶏卵	15
養蚕	0
その他農業(注1)	12,728
農業関連団体等(注2)	663
合計	20,943

(注1)「その他農業」には、複合経営で業種が明確に位置づけられない者および農業サービス業が含まれています。

(注2)「農業関連団体等」には、J Aや全農(経済連)とその子会社等が含まれています。

【資金種別別農業資金残高】 (単位：百万円)

種 類	平成27年3月末現在
プロパー農業資金(注1)	14,981
農業制度資金(注2)	5,962
農業近代化資金	3,341
その他制度資金(注3)	2,621
合 計	20,943

(注1)「プロパー農業資金」とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。

(注2)「農業制度資金」は、①地方公共団体もしくは日本政策金融公庫の資金をJAバンク長崎が転貸で融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことでJAバンク長崎が低利で融資するものを対象としています。

(注3)「その他制度資金」には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】 (単位：百万円)

種 類	平成27年3月末現在
日本政策金融公庫資金	2,455
そ の 他	0
合 計	2,455

(注) JAバンク長崎では、主にJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

JAバンク長崎は主要な農業関係の制度資金である、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金(公庫直貸除く)の取扱いにおいてトップシェアとなっています。

【長崎県の農業近代化資金および公庫農業資金の取扱いシェア】

- 農業近代化資金(平成26年12月末)
JAバンク長崎99.4%
- 公庫受託貸付(平成27年3月末)
JAバンク長崎68.3%

(2) 担い手のニーズに応えるための取組み

JAバンク長崎では、地域の農業者のニーズに応えるため、様々な取組みを行っています。

JAでは、本支店の農業融資担当者が営農・経済部門等と連携しながら、農業融資に関する資金提案や経営相談対応等を実施しています。これを支える体制として、豊富な農業金融知識をもった農業融資の実務リーダーである「担い手金融リーダー」を、平成26年度末時点で7JA35名配置しています。

JA系統独自の農業融資資格制度「JAバンク農業金融プランナー」を導入しており、有資格者は平成26年度末時点で県内に24名誕生しています。農業融資の実

務に即した資格の取得を通じ、農業金融に関する知識・ノウハウの一層の充実を図り、多様化・専門化する農業者の金融ニーズに添えていくことを目的としています。

農林中央金庫長崎支店では、JAのサポート指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う「県域農業金融センター機能」を構築しており、これらの機能の拡充、強化に努めています。

(3) JA内事業間連携の強化

農業者の多様なニーズにJAをあげて添えていくため、営農・経済事業等との合同会議・研修会の開催や農業者への同行訪問等により、これまで以上に、JA内事業間連携を強化しています。

具体的取組事例
・JAの営農担当者を対象に、農業資金に関する知識を習得するための研修会を開催。

(4) 農業メインバンクCS調査の実施と結果の活用

JAバンクでは、JAの農業融資に対する率直なご意見・ご感想をお伺いすることを目的として、お客様満足度の計測（農業メインバンクCS調査）を行っています。

得られた結果を活用しながら、農業者の声により応えることが出来るよう、農業メインバンク機能の一層の強化に取り組んでいます。

2 担い手の経営のライフステージに応じた支援

JAバンク長崎は、担い手をサポートするため、ライフステージに応じて、次の取組みを行っています。

(1) 次世代農業者の育成支援

JAバンク長崎では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、青年等就農資金等を取り扱っています。

【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】

(単位：件、百万円)

種 類	平成 26 年度 実行件数	平成 26 年度 実行金額	平成 27 年 3 月末 残 高
青年等就農資金	4	2 1	2 1
就農支援資金	5	1 7	3 2 1
その他	0	0	0
合 計	9	3 8	3 4 2

(2) 農商工連携の推進

JAバンク長崎は、農林水産業の事業力・収益力強化のため、商談会・ビジネスマッチングによる販路拡大支援等の農商工連携に取り組んでおり、「農業者と産業界の架け橋」として多様な機能を発揮しています。

(3) 担い手経営体とのネットワーク拡大

JAバンク長崎では、担い手経営体とのネットワーク拡大、関係強化に取り組んでいます。

(4) 経営不振農家の経営改善支援

J Aバンク長崎では、負債整理資金の対応等にあたり再生計画の策定支援や経営指導など、農業者の経営改善支援に取り組んでいます。

【平成 26 年度 農業者の経営改善支援等の取組み実績】

(単位：先)

債務者区分	期初経営改善支援取組先 A	Aのうち再生計画を策定した先数	Aのうち期末に債務者区分がランクアップした先数	Aのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数	再生計画策定率 = a / A	ランクアップ率 = b / A	
		a	b	c			
正常先①	52	0	—	41	0.0%	—	
要注意先	うちその他要注意先②	63	10	0	49	15.9%	0.0%
	うち要管理先③	24	1	9	15	4.2%	37.5%
破綻懸念先④	51	4	3	44	7.8%	5.9%	
実質破綻先⑤	94	3	2	88	3.2%	2.1%	
破綻先⑥	2	0	0	2	0.0%	0.0%	
小計 (②～⑥の計)	234	18	14	198	7.7%	6.0%	
合計	286	18	14	239	6.3%	4.9%	

(注) 期初経営改善支援取組先および債務者区分は平成 26 年 3 月末時点のものです。

3 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給手法の徹底

J Aバンク長崎では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

(1) 資本供与の取組み（ファンドの活用）

J Aバンク長崎では、農業振興や環境に貢献する取組みを行う企業に投資し、その成長を支援しています。

平成 26 年度のアグリシードファンドの実績は 2 件 15,990 千円となっており、累計では 3 件 18,490 千円となっています。

(2) 6次産業化の支援

J Aバンク長崎では、担い手の所得向上を支援するために、生産と販売のマッチング機能強化や、需要拡大が見込める分野の事業展開支援、いわゆる 6 次産業化促進支援を行っています。

(3) 被災者等への支援

J Aバンク長崎では、自然災害の被災者を支援するため、災害対策窓口を設置したほか、災害対策資金の創設や個別融資先の経営状況に応じた償還条件の緩和等に対応しました。

また、管内 J Aでは農産物の価格低迷に伴う農業収入減少に対応するため、農家経営安定資金のための特別資金を創設するなど、担い手に対する経営支援に取り組んでいます。

(単位：件，百万円)

取組事例	J A名	内 容	件数	貸付実行金額
平成 26 年経営緊急対策	長崎せいひ	J A長崎せいひでは，平成 26 年産の農産物の価格低迷に伴い，農家経営雲梯のための低利の特別資金の対応を行いました。	1 5	2 8

(4) 負債整理資金による経営支援

J Aバンク長崎では，農業者の債務償還負担を軽減し，経営再建を支援するため，負債整理資金を取り扱っています。

【平成 26 年度 負債整理資金の貸出実績】

(単位：件，百万円)

資金名	実行件数	実行金額	平成 27 年 3 月末残高
農業経営負担軽減支援資金(注 1)	0	0	2 7 7
畜産特別資金(注 2)	0	0	5 6 3
その他	7	6 2	1, 1 5 4
合 計	7	6 2	1, 9 9 4

(注 1) 農業経営負担軽減支援資金は，営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり，J Aなどの融資機関において取り扱っています。

(注 2) 畜産特別資金は，過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり，J Aなどの融資機関において取り扱っています。

(5) 動産担保融資の活用

J Aバンクでは，農畜産物や事業用車両，各種在庫など様々な動産を担保とした融資を行い，不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資等への取組みを行っております。

長崎県における融資の実績は次表のとおりです。

【動産担保融資活用実績】

(単位：件，百万円)

担保の種類	平成 26 年度末	
	件数	残高
農 産 物	0	0
畜 産 物	1 2	6
機 械 設 備	0	0
そ の 他(注)	2 1	3 9 6
合 計	3 3	4 0 2

(注) 「その他」は，アグリマイティ資金(アグリパワー資金)です。

4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

J Aバンク長崎では，地域社会へ貢献するため，次の取組みを行っています。

(1) 食・農への理解促進

J Aバンク長崎は，地域の小学生の農業に対する理解を促進するため，J Aバンク食農教育応援事業を展開し，農業に関する教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。

教材「農業とわたしたちの暮らし」は、JAバンクを通じて、平成26年度には県下の小学校365校へ、14,580冊配布され、学校の授業等において活用されています。

また、県下JAでは、食農教育などの実践活動に取り組んでいます。

【JAバンク食農教育応援事業による活動内容】

JA名	活動名	活動内容
長崎せいひ	農業体験	稲作・甘藷・野菜・みかん・びわ栽培
ながさき県央	農業体験	稲作・馬鈴薯・甘藷・野菜栽培
島原雲仙	農業体験	稲作・馬鈴薯・落花生・野菜・花栽培
ながさき西海	農業体験	稲作・甘藷・大豆・スイートコーン・みかん栽培, 味噌作り
ごとう	農業体験	稲作・甘藷栽培
壱岐市	農業体験	稲作・甘藷・野菜・花栽培

5 地域密着型金融の取組事例
別紙のとおり

以上

地域密着型金融の取組事例について

タイトル：平成 26 年度ながさき青年農業経営塾

JA名：農林中央金庫長崎支店（県名：長崎県）

1 動機 (経緯)	<p>・「農林業を継承できる経営体の増加」と「豊かな資源を活用した農山村の活性化」の実現に向け、将来地域農業のリーダーとなる人材の育成を図るため、経営感覚を養い、経営力を強化する農業経営セミナーとして長崎県およびA F J（一般社団法人アグリフューチャー・ジャパン）が実施主体となり平成 25 年度から「ながさき青年農業経営塾」を開催しています。</p> <p>平成 26 年度からは、農林中央金庫長崎支店も後援団体として参加し、セミナー講師対応、事務局業務支援等を行っております。</p>
2 概要	<p>・平成 26 年度ながさき青年農業経営塾は、22 名の塾生を対象に平成 26 年 7 月から 11 月まで計 8 回開催され、農業経営者の役割および農業経営者に必要な経営力等について、先進的農業法人の経営者等から講義を受けるとともに、塾生同士のグループ討議等を重ねました。</p> <p>・農林中央金庫長崎支店においては、第 7 回の講師対応を行い、「事業計画を実現する・金融機関の審査の目線」というタイトルで講義を行いました。</p>
3 成果 (効果)	<p>・第 8 回の講義後の卒塾式において、塾生から、それぞれの農業の規模拡大計画、売上増の計画および 6 次産業化への取組み等の発表が行われるとともに農業で地域の活性化に貢献したい等の熱心な発表が行われました。</p>
4 今後の 予定 (課題)	<p>・「ながさき青年農業経営塾」については平成 27 年度も開催され、農林中央金庫長崎支店においても平成 26 年度同様にセミナー講師対応、事務局業務支援等を行いました。</p>



(農林中央金庫長崎支店講義風景)



(講義後のグループ討議風景)